

じゅうすいそ

重水素

■ 用語解説 ■

記号 ; 2HまたはD。水素原子の原子核は陽子1つなのに対して、原子核が陽子1つと中性子1つから構成される水素が存在する、これを二重水素あるいは重水素と呼ぶ。地球上の存在は水素99.985%、重水素0.015%の割合である。常温、常圧で無色無臭の気体。水素原子に比べて2倍の質量があるため化学反応も異なる(重水素効果)。重水素2個を核融合させると三重水素やヘリウムが生成され莫大なエネルギーが放出され、恒星初期の核融合反応がこれに当たる。重水素は海水に大量に含まれるため核融合燃料として有望視されている。